

# 日本大学の現況と課題

—全学自己点検・評価報告書2018—

(大学・短期大学部・専門学校)

## 点検・評価結果及び改善意見

【歯学部附属歯科技工専門学校，歯学部附属歯科衛生専門学校】

## 目 次

基準Ⅰ	教育課程・学習成果 .....	1
基準Ⅱ	学生の受け入れ .....	5
基準Ⅲ	教員・教員組織 .....	8
	歯学部附属歯科技工専門学校・歯学部附属歯科衛生専門学校の改善意見 .....	11

## 基準 I 教育課程・学習成果

### 点検・評価項目①

授与する学位ごとに、学位授与方針を定め、公表しているか。

#### 【現状説明】

##### <歯科技工専門学校>

本校は、医療人としての主体性を認識し、歯科技工の国際化に対応できる世界的視野で物事を捉え、本校で学んだ高度な技術を生かすため「自主創造」の精神を醸成し、尊重する者に専門士（医療専門課程）の学位を授与することをホームページで公表している（資料 1-3）。

##### <歯科衛生専門学校>

本校は、医療人としての主体性を認識し、歯科衛生の国際化に対応できる世界的視野で物事を捉え、本校で学んだ高度な技術を生かすため「自主創造」の精神を醸成し、尊重する者に専門士（医療専門課程）の学位を授与することをホームページに公表している（資料 1-4）。

### 点検・評価項目②

授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。

#### 【現状説明】

##### <歯科技工専門学校>

教育課程の編成や実施方針については、歯科技工士学校養成所指定規則に基づいて行い、ホームページにて公表している。また、授業計画（シラバス）という形で、教育課程の体系、教育内容、履修系統図を明示し、教職員及び学生に周知している（資料1-3, 1-13）。

##### <歯科衛生専門学校>

教育課程の編成や実施方針については、歯科衛生士学校養成所指定規則に基づいて行い、授業計画（シラバス）、ホームページに履修系統図を明示し、授業形態や配当年次がわかるよう公表している（資料1-4, 1-14）。

### 点検・評価項目③

教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。

#### 【現状説明】

##### <歯科技工専門学校>

教育課程編成・実施の方針に基づき、理解度や経験に合わせて、入学時から卒業時まで

の一貫したカリキュラムの中で実施し、個々の授業科目の内容及び方法は、授業計画（シラバス）に明示している。授業は全て、必修科目である（資料1-3, 1-13）。

#### < 歯科衛生専門学校 >

教育課程の編成・実施方針に基づき、理解度や経験に合わせて、入学時から卒業時までの一貫したカリキュラムの中で実施している。また、個々の授業科目の内容及び方法は、授業計画（シラバス）に掲載している。授業科目は全て必修である（資料1-4, 1-14）。

### 点検・評価項目④

学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。

#### 【現状説明】

#### < 歯科技工専門学校 >

歯科技工士学校養成所指定規則に基づくカリキュラムに従い、全国歯科技工士教育協議会で指定される教科書等を使用することで国家試験対策を行っている。また、学修到達目標、授業時間、成績評価等を授業計画（シラバス）に掲載している（資料1-13）。

#### < 歯科衛生専門学校 >

歯科衛生士学校養成所指定規則に基づくカリキュラムに従い、全国歯科衛生士教育協議会で指定される教科書等を使用することで国家試験対策を行っている。また、授業計画（シラバス）には、学修到達目標、授業時間、成績評価、注意事項等に掲載している（資料1-14）。

### 点検・評価項目⑤

成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。

#### 【現状説明】

#### < 歯科技工専門学校 >

カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーに基づき、定期試験・実習試験等を行いその成績において単位認定のための評価を行っている。授業計画（シラバス）において成績評価の基準とその比率を明示し、学生の授業への準備・受講への一助としている。また、定期試験・実習試験等を行いその成績において卒業判定のための評価を行っている。卒業が認められた者には、卒業証書が授与され、歯科技工専門課程歯科技工士学科を修了した者には、専門士の称号が授与される（資料1-13）。

#### < 歯科衛生専門学校 >

カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーに基づき、定期試験・実習試験等を行いその成績において単位認定のための評価を行っている。また、授業計画（シラバス）において成績評価の基準とその比率を明示している。定期試験・実習試験等を行いその成績において卒業判定のための評価を行っている。卒業が認められた者には、卒業証書が授与され、歯科衛生専門課程歯科衛生士学科を修了した者は、専門士の称号が授与される（資料1-14）。

## 点検・評価項目⑥

学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。

### 【現状説明】

#### <歯科技工専門学校>

学修成果の多角的評価方法として、国家試験合格率や就職率で評価を行っている。

#### <歯科衛生専門学校>

学修成果の多角的評価方法として、国家試験合格率や就職率で評価を行っている。

## 点検・評価項目⑦

教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。

### 【現状説明】

#### <歯科技工専門学校>

授業内容及び方法の改善を図るための組織的研修について、歯科技工専門学校教学 I R 専門委員会を開き、学生の修学状況を把握し、個々に適応した指導を行っている。また、学生による授業評価のアンケートを実施し、内容の確認を行っている。結果・内容については担当教員及び他の教員も共有し、校長がアドバイスをを行う等、授業の改善及び学生指導に役立っている。

#### <歯科衛生専門学校>

授業内容及び方法の改善を図るための組織的研修について、衛生専門学校教学 I R 専門委員会を開き、学生の修学状況を把握し、個々に適応した指導を行っている。また、授業評価のアンケート調査の結果に基づいて、校長が担当教員へアドバイスを基に授業の改善及び学生指導等に役立っている。

---

### 【長所・特色】

#### <歯科技工専門学校>

なし

#### <歯科衛生専門学校>

なし

### 【問題点】

#### <歯科技工専門学校>

なし

#### <歯科衛生専門学校>

なし

### 【全体のまとめ】

### <歯科技工専門学校>

歯科技工士学校養成所指定規則に基づくカリキュラムを設定し、方針に沿った十分な取り組みができています。現在は、平成31年度4月からの大綱化に向けて、準備を整えている。

### <歯科衛生専門学校>

歯科衛生士学校養成所指定規則に基づくカリキュラムを設定し、方針に沿った十分な取り組みができています。今後は、国家試験合格率100%を維持するための教育を教員間で検討していく必要がある。

#### 【根拠資料】

1-3	〔附属歯科技工専門学校〕 ホームページ 学校の特徴 <a href="http://www.dent.nihon-u.ac.jp/college/">http://www.dent.nihon-u.ac.jp/college/</a>
1-4	〔附属歯科衛生専門学校〕 ホームページ 学校の特徴 <a href="http://www.dent.nihon-u.ac.jp/college/">http://www.dent.nihon-u.ac.jp/college/</a>
1-7	〔附属歯科技工専門学校〕 ホームページ 学校の特徴 <a href="http://www.dent.nihon-u.ac.jp/college/">http://www.dent.nihon-u.ac.jp/college/</a>
1-8	〔附属歯科衛生専門学校〕 ホームページ 学校の特徴 <a href="http://www.dent.nihon-u.ac.jp/college/">http://www.dent.nihon-u.ac.jp/college/</a>
1-13	〔附属歯科技工専門学校〕 授業計画
1-14	〔附属歯科衛生専門学校〕 授業計画
1-18	〔附属歯科技工専門学校〕 学則
1-19	〔附属歯科衛生専門学校〕 学則

## 基準Ⅱ 学生の受け入れ

### 点検・評価項目⑧

学生の受け入れ方針を定め、公表しているか。

#### 【現状説明】

##### <歯科技工専門学校>

歯科医療の一翼を担う歯科技工士として、患者の口腔内の機能や審美性の回復に関わり、「国民の健康に貢献したい」と考える学生像を明示し、ホームページに公表している（資料2-7）。

##### <歯科衛生専門学校>

専門的知識と技能を養うために歯および口腔の疾患について、保健指導、予防処置、診療補助を行い、歯科医師と共に患者の健康増進のために貢献したいと考える学生像を明示し、ホームページに掲載している（資料2-8）。

### 点検・評価項目⑨

学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。

#### 【現状説明】

##### <歯科技工専門学校>

学生募集について、ホームページによる周知、広告業者の電子媒体による周知、進学相談会や学校見学での周知を行っている。入学者選抜方法については、AO入試、附属高等学校推薦入試、指定校推薦入試、一般推薦入試、一般入試を実施している（資料2-3）。

##### <歯科衛生専門学校>

学生募集について、ホームページによる周知、広告業者の電子媒体による周知、進学相談会や学校見学での周知を行っている。入学者選抜方法については、附属高等学校推薦入試、一般推薦入試、一般入試を実施している（資料2-4）。

### 点検・評価項目⑩

適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。

#### 【現状説明】

##### <歯科技工専門学校>

平成30年度学生数は収容定員105名に対して39名が在籍しており、充足率は約37%である。

##### <歯科衛生専門学校>

平成30年度学生数は収容定員120名に対して109名が在籍しており、充足率は約91%である。

## 点検・評価項目⑪

学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。

### 【現状説明】

#### <歯科技工専門学校>

専門学校運営委員会において入学者選抜の公正性や適切性について検証し、次年度の入試計画に反映させている（資料2-12）。

#### <歯科衛生専門学校>

専門学校運営委員会において入学者選抜の公正性や適切性について検証し、次年度の入試計画に反映させている（資料2-12）。

---

### 【長所・特色】

#### <歯科技工専門学校>

なし

#### <歯科衛生専門学校>

なし

### 【問題点】

#### <歯科技工専門学校>

定員充足率を増やす必要がある。

#### <歯科衛生専門学校>

充足率を 100%にするために、志願者の確保や退学者等の防止対策について検討していく必要がある。

### 【全体のまとめ】

#### <歯科技工専門学校>

定員不足への対応として、進学相談会や学校見学等の実施、高等学校訪問の実施、ダイレクトメール発送数の増加等、募集体制を強化する必要がある。

一方、夜間課程の専門学校に入学を希望する者が減少しており、特に本学においては、附属高校からの推薦入学者がここ数年間皆無で推移している。そのため、校舎の移設を機会として、夜間課程3年制から昼間課程2年制への改組を検討している。

#### <歯科衛生専門学校>

志願者の減少、退学者等により定員が充足していないため、今後はアドミッション・ポリシーに基づいた入学者を確保するための学生募集対策について、教員会、専門学校運営委員会で、検討していく必要がある。

### 【根拠資料】



2-3	〔附属歯科技工専門学校〕 ホームページ 入試情報 <a href="http://www.dent.nihonu.ac.jp/college/">http://www.dent.nihonu.ac.jp/college/</a>
2-4	〔附属歯科衛生専門学校〕 ホームページ 入試情報 <a href="http://www.dent.nihonu.ac.jp/college/">http://www.dent.nihonu.ac.jp/college/</a>
2-7	〔附属歯科技工専門学校〕 ホームページ 学校の特色 <a href="http://www.dent.nihonu.ac.jp/college/">http://www.dent.nihonu.ac.jp/college/</a>
2-8	〔附属歯科衛生専門学校〕 ホームページ 学校の特色 <a href="http://www.dent.nihonu.ac.jp/college/">http://www.dent.nihonu.ac.jp/college/</a>
2-12	〔附属歯科技工専門学校〕 〔附属歯科衛生専門学校〕 専門学校運営委員会内規

## 基準Ⅲ 教員・教員組織

### 点検・評価項目⑫

大学の理念・目的に基づき、大学として求める教員像や各学部・研究科等の教員組織の編制に関する方針を明示しているか。

#### 【現状説明】

##### <歯科技工専門学校>

教員採用にあたっては、専修学校設置基準及び学則等に基づいて採用している。また、各学科目に対して、授業担当責任者及び授業担当主任者を置くことで、各学科目の窓口を一本化にしている（資料3-9）。

##### <歯科衛生専門学校>

専修学校設置基準及び学則に基づいて採用している。また、各学科目に対して、授業担当責任者及び授業担当主任者を置くことで、各学科目の窓口を一本化にしている（資料3-9）。

### 点検・評価項目⑬

教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。

#### 【現状説明】

##### <歯科技工専門学校>

設置基準上必要教員数は3.6名である。現在の教員構成は以下のとおりである。60歳以上 2名、40～36歳 2名 計4名。学年ごと担任が授業を受持っているが授業科目によっては、歯学部の各専門講座の教員から推挙された者が担当している。

##### <歯科衛生専門学校>

教員構成は以下のとおりである。60歳以上 1名、41～48歳 4名

### 点検・評価項目⑭

教員の募集、採用、昇任等を適切に行っているか。

#### 【現状説明】

##### <歯科技工専門学校>

教員人事については、歯学部長の諮問機関である専門学校運営委員会の教員人事に関する事項に基づいて審議答申を行っている。

##### <歯科衛生専門学校>

教員人事については、歯学部長の諮問機関である専門学校運営委員会の教員人事に関する事項に基づいて審議答申を行っている。

### 点検・評価項目⑮

ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。

**【現状説明】**

＜歯科技工専門学校＞

全国歯科技工士教育協議会主催の専任教員講習会に計画的に出席することで、カリキュラムプランニング、コミュニケーション力の育成等の資質向上を図っている。

＜歯科衛生専門学校＞

全国歯科衛生士教育協議会及び日本歯科衛生教育学会主催の講習会を段階ごとに受講することで、歯科衛生学教育法や行動科学、コミュニケーション能力等の向上を図り、専任教員認定歯科衛生士としての資格を得ている。

**点検・評価項目⑩**

教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。

また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。

**【現状説明】**

＜歯科技工専門学校＞

専修学校設置基準及び学則等に基づいて適切性について点検・評価を行っている。

＜歯科衛生専門学校＞

専修学校設置基準及び学則等に基づいて適切性について点検・評価を行っている。

---

---

**【長所・特色】**

＜歯科技工専門学校＞

なし

＜歯科衛生専門学校＞

なし

**【問題点】**

＜歯科技工専門学校＞

なし

＜歯科衛生専門学校＞

なし

**【全体のまとめ】**

＜歯科技工専門学校＞

現在、法令に定める必要専任教員数の確保はできている。

< 歯科衛生専門学校 >

現在，法令に定める必要専任教員数の確保はできている。

【根拠資料】

3-9	〔附属歯科技工専門学校〕〔附属歯科衛生専門学校〕 専門学校設置基準（第四章 教員） <a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/senshuu/04062901.htm">http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/senshuu/04062901.htm</a>
-----	---

## 歯学部附属歯科技工専門学校・歯学部附属歯科衛生専門学校の改善意見

(計 2 件)

基準	I 教育課程・学習成果
改善事項	(歯学部附属歯科技工専門学校) 歯科技工教育の大綱化に向けたカリキュラム編成
改善の方向及び 具体的方策	<p><b>[改善の方向]</b></p> <p>平成 29 年 11 月に歯科技工士学校養成所指定規則の一部を改正する省令が公布され、歯科技工教育の大綱化が実施されるため、履修科目認定における単位制に対応したカリキュラム編成が必要となる。</p> <p><b>[具体的方策]</b></p> <p>大綱化に対処すべく、教育内容と修得単位の検討を行い、本件につき技工専門学校教学 I R 専門委員会と教員会で内容の適切性等についても検証している。なお、大綱化への対応を含めた学則改正を予定しており、主務官庁への届出を行ったところである。</p>
改善達成時期	平成 31 年 4 月
改善担当部署等	教務課 (専門学校事務室)

基準	II 学生の受け入れ
改善事項	(歯学部附属歯科衛生専門学校) 学生の適切な定員確保
改善の方向及び 具体的方策	<p><b>[改善の方向]</b></p> <p>平成 30 年度学生数は収容定員 120 名に対して 109 名が在籍しており、充足率は約 91% である。今後は、定員充足率 100% を目指す必要がある。</p> <p><b>[具体的方策]</b></p> <p>適切な定員の確保に努めているが、退学者等により定員が充足していない。そのため対応策として、クラス担任との個人面談はもちろん、理由等によっては校長及び教務主任が面談を行い、退学者等の防止対策に努めている。また、入学志願者等も減少しているため、入試方法も検討している。検証方法については、歯科衛生専門学校教学 I R 専門委員会と教員会で検証し、その検証内容について、専門学校運営委員会において諮り、適切性等について検証している。</p>
改善達成時期	平成 30 年度中 (予定)
改善担当部署等	教務課 (専門学校事務室)